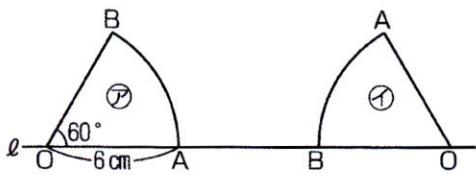


[必修例題6]

右の図のように、半径が6cm、中心角が60度のおうぎ形OABが②の位置に置いてあります。このおうぎ形が、はじめて①の位置にくるまで、直線l上をすべらないように転がりました。円周率を3.14として、次の問いに答えなさい。



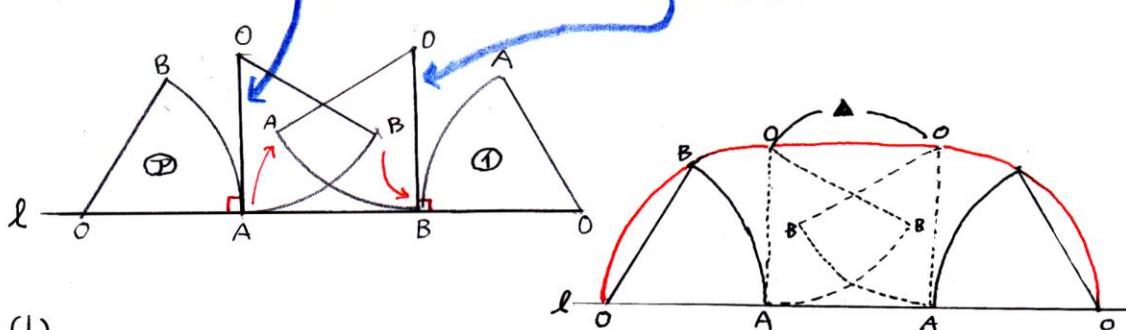
(1) 点Oが動いたあとの線の長さは何cmですか。

(2) 点Oが動いたあとの線と直線l上で囲まれた図形の面積は何cm²ですか。

作図のコツ

まち“半径(OA)がlに垂直(90°回転)になった図を書きます。

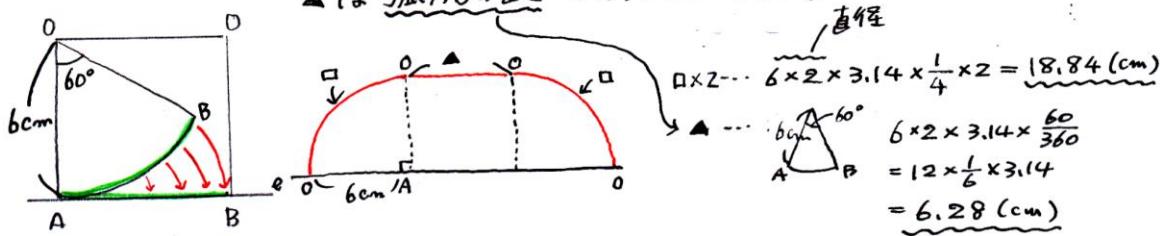
次に点Bがlに着地したときの図(DBがlに垂直)を書きます。



(1)

点Oは右の図の赤矢印のように動きます。

▲の部分は弧ABが次々とlに着地していきますから水平に動きます。

↓
▲は弧ABの長さといふことになります。

$$\text{求める長さ} \cdots 18.84 + 6.28 = 25.12 \text{ (cm)}$$

25.12 cm

(2)

2×3.14

6.28

$6 \text{ cm } (I)$

(II)

求める面積は (I) × 2 + (II)

$6 \times 6 \times 3.14 \times \frac{1}{4} \times 2 + 6 \times 6.28$

$= 18 \times 3.14 + 12 \times 3.14$

$= (18 + 12) \times 3.14$

$= 30 \times 3.14$

$= 94.2 \text{ (cm}^2\text{)}$

94.2 cm²